

看護学校自己点検・自己評価

I 学校評価の目的

学校評価は、奈良県立病院機構看護専門学校が、学校活動全般について、自己改革を行い、教育の質の向上、および学校の設置目的を達成するために行う。

学校評価は、教育機関としての機能を包括的に判定する「学校運営評価」と、学生及び教員による教育方法と内容の評価である「授業評価」と、学生の「学生満足度」からなっている。

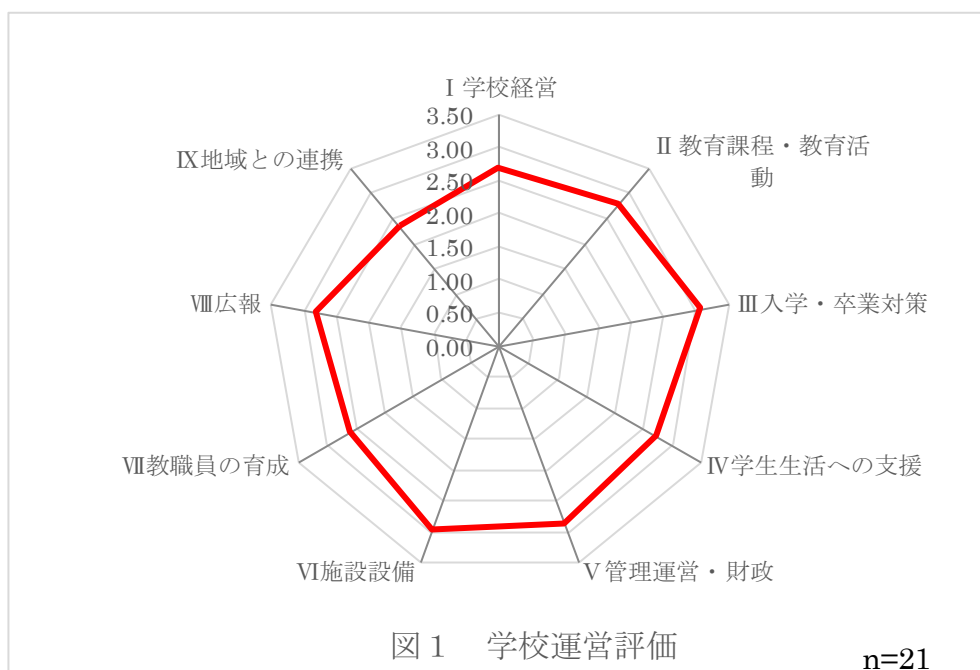
II 学校運営評価

教職員 21 名により、質の高い魅力ある学校づくりに資することを目的に評価を実施した。評価項目は「I 学校経営」「II 教育課程・教育活動」「III 入学・卒業対策」「IV 学生生活への支援」「V 管理運営・財政」「VI 施設設備」「VII 教職員の育成」「VIII 広報」「IX 地域との連携」とし、評価基準は、非常にあてはまる：4、かなり当てはまる：3、あまり当てはまらない：2、まったく当てはまらない：1の4段階とした。

結果は、総平均が、2.77であった。評価の高い分野は、「III 入学・卒業対策」が 3.08、「VI 施設設備」が 2.97「V 管理運営・財政」が 2.88であった。一方、低い評価だったのは、「IX 地域との連携」2.33「VII 教職員への育成」2.59であった（図1）。

高評価の「III 入学・卒業対策」では、卒業生の県内就職率（96.9%）をはじめ、全員の進路が決まったこと、1年次より国試対策に取り組み、第108回看護師国家試験は100%の合格率であったことが、高得点の要因と考える。

低評価となった「IX 地域との連携」については、「ふれあい祭り」や「災害訓練」などを通して交流を図っており、大和川清掃活動等の活動も増やしているが、地域住民との交流の更なる充実が今後の課題と考える。



Ⅲ 授業評価（講義）

「授業評価項目」は、学生による授業評価を行い、評価結果に基づいて授業内容の改善を図る目的で、最終授業後にアンケート調査を行った。評価は、非常にあてはまる：4、かなり当てはまる：3、あまり当てはまらない：2、まったく当てはまらない：1の4段階とした。（表1）すべての項目の総平均は3.3と高かった。

注目すべき項目は「⑩あなたはこの授業に意欲的にとりくみましたか」「⑫この授業から新しい知識・考え方や技術・技能を得られましたか」「⑭あなたはこの授業を受講して良かったと思いますか」が3.4と高い結果であった。学生の授業に対する満足感が高いと考える。

表1.授業アンケート結果

①この授業全体の意義や目的が理解できるようにしめされましたか	②毎回の授業で具体的な目標が理解できるようにしめされましたか	③シラバスは、学習を進める上でやくだちましたか	④授業の進度についていけましたか	⑤教員の話し方は明瞭で聞きやすかったですか	⑥板書や機器を用いた説明の仕方はわかりやすかったですか	⑦補助教材（教科書・プリント・ビデオ等）はわかりやすかったですか	⑧質問や意見を述べる機会がありましたか	⑨あなたはこの授業の内容をよく理解できましたか	⑩この授業のために予習・復習を十分に行いましたか	⑪あなたはこの授業に意欲的にとりくみましたか	⑫この授業から新しい知識・考え方や技術・技能を得られましたか	⑬この授業に関する分野への興味や関心が強くなりましたか	⑭あなたはこの授業を受講して良かったと思いますか
3.3	3.3	3.0	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.1	3.4	3.4	3.3	3.4

Ⅳ. 学生満足度

「学生満足度」は、よりよい学校づくりの基礎資料とするためアンケート調査を実施した。評価基準は、非常にあてはまる：4、かなり当てはまる：3、あまり当てはまらない：2、まったく当てはまらない：1の4段階とした。3月1日にアンケート用紙を在校生220名に配布し、有効回答数は211名（95.9%）であった。

1) 授業について

11項目の平均は2.76であった。昨年はより0.17ポイントが上がっていた。項目別では「専門的な知識が身につく授業が多い」が3.31と高かった。低かった項目としては「国際性が身につく授業が多い」が2.01であった。本校は国際的視野を身につけることも目標としているため、英会話サークル活動を実施している。今後も国際性を育んでいける様に取り組みたい。

2) カリキュラムについて

満足度は 3.07 と高い。「臨地実習は学ぶ事が多い」が 3.63 であり高かった。看護は臨地実習での学びが大きく、満足度も高いので、学校と実習施設が連携し、より充実した学習ができるよう体制を整えていきたい。

3) 教員について

全体の満足度は 2.89 であり、「教育や指導に熱意をもっている教員が多い」が 3.36、「授業中、学生の質問や意見に適切に対応してくれる教員が多い」が 3.06 と学生の満足度は高かった。

4) 学生支援システムや各種サポートについて

学生の満足度は最も低い項目であった。「学習へのサポートが充実している。」 2.77 が高かった。「心の健康管理のための相談室が利用しやすい」が 2.46 で昨年より 0.26 ポイント高くなった。相談しやすい雰囲気が満足度の上昇の要因と考える。

5) 学生生活全般について

「校内の美化が行き届いている」が 3.20 であり満足度は高かった。「図書室は学習しやすい環境である」 3.23、「図書室は文献検索しやすい」 3.21 であり、昨年より満足度は高くなっていて、学習環境の改善に繋がっている。

6) 進路・就職サポートについて

全般的に満足度は 2.93 であった。「国家試験対策のための指導は充実している」が 3.09 であり評価は高かった。国家試験合格率 100%に繋がっていると考える。

7) その他

「一人一人の学生を大切にしている」が 2.77 であり、昨年より 0.24 ポイント満足度は上がった。本校の教育理念にあるように、学生が仁と愛の心を持って、看護専門職として成長し続けられるように、一人一人を大切に育成していきたい。

8) 総評

すべての項目の平均値は 30 年度 2.80 であった。29 年度の平均は 2.63 であり、満足度は上昇していた。51 項目全ての項目の満足度が高くなっていた。